

教育研究所通信

発行：都城市教育研究所

第2号 令和6年7月1日

3年計画最終年度の研究に取り組んでいます！



■ 研究主題・副題（令和4・5・6年度） ■

子どもたちの未来に向かい、学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を目指す授業の創造
～ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの工夫～

学習指導要領の趣旨を踏まえ、GIGAスクール構想による1人1台端末・高速通信環境を活用した子どもにとって授業が「主体的・対話的で深い学び」となることに視点をあてた研究も3年目を迎えました。昨年度に引き続き本年度も同じ研究主題と副題の下、都城市学校教育ビジョンの重点取組事項となっている「子どもたちが主役の授業（わ・さ・び）」を目指した研究を進めています。

本年度は、教科班（小学校国語科2名、小学校算数科2名）、STEAM教育班（中学校数学科2名、中学校理科2名）、ICT班（小学校3名、中学校社会科1名）の3班で研究を進めています。各班会では、単元縦断型×教科横断型による課題解決型の授業について単元設計や学習評価の工夫、そして、個別最適な学びと協働的な学びの工夫を関連させた複線型の授業展開等を協議しています。また、ICT班は、AIドリル（キュビナ）を活用した評価についても研究を深めているところです。

研究会では、持ち寄ったレポートをもとに協議を行いますが、そのレポートには、Google AIのジェミニを活用して作成した提案もあり、研究の焦点化や効率化にも役立っているようです。

最後に本年度は、研究成果を市内の先生方にできるだけ早く広くお伝えしたいと考え、授業力向上セミナーではSTEAM教育班が担当する教科横断型の講座、秋に実施する研究所員の研究授業では授業公開を予定しています。研究所員は都城市内の先生方や子どもたちに貢献したいとの思いで頑張っていますので、楽しみにしていただきたいと思います。

※ STEAM教育とは、Science（科学）、Technology（技術）、Engineering（工学）、Art（芸術）、Mathematics（数学）の5つの単語の頭文字を組み合わせた教育概念のことです。



【教科班】



【STEAM教育班】



【ICT班】

■ 資料紹介～生徒指導提要（改訂版）～ ■

先日、全国教育研究所連盟研究発表大会（秋田大会）がオンラインで開催されました。講演では、生徒指導提要の改定に関する協力者会議の副座長を務められた関西外語大学教授 新井 肇 先生が、演題『生徒指導提要（改訂版）が示す学習指導と生徒指導の一体化に向けて』としてお話をされました。新井先生は、『生徒指導を取り巻く環境は大きく変化するとともに、生徒指導上の課題がより一層深刻化している。生徒指導の実践に際しては、教職員間で共通理解を図り、組織的・体系的な取組が重要となってくる。学校・教職員向けの基本書として作成された「生徒指導提要（改訂版）」をぜひ活用していただきたい。』とまとめられました。

この生徒指導提要は、令和4年12月に改訂され、文部科学省のホームページからダウンロードできるようになっています。デジタルテキストの活用ガイドもあり、必要事項の検索が簡潔にできるようです。

【本通信についてのお問合せ】

お問合せ等がありましたら、遠慮なく所長の曾原、または学校教育課指導主事の石塚までご連絡ください。

■ 都城市教育研究所：市役所南別館3階 電話 23-7167（所長直通）、36-8721（学校教育課）■